平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立伊勢原小学校

1　調査結果の分析と考察

	特長	課題
国語	・図表やグラフなどの意味を捉えることができる。 ・目的に応じて本や文章全体を概観して、効果的に読むことができる。 ・話し手の意図を捉えながら聞くことができる。	・文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。 ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして書くこと。
算数	・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる。 ・グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる。 ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、与えられた式の計算に適用することができる。 ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。	・示された除法の意味を理解すること。 ・示された計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質をことばを用いて記述すること。 ・示された図形の面積の求め方を理解し、その求め方の説明を記述すること。
質問紙	・ほとんどの児童が、毎日同じ時刻に起床し、朝食を食べ、同じ時刻に就寝している。 ・多くの児童が自己肯定感が高く、将来の夢や目標を持っている。 ・多くの児童が学校生活を楽しいと感じていて友人関係も安定している。 ・国語や算数の学習の大切さを自覚し、学習したことが将来役立つと考えている。 ・国語や算数の学習に積極的に取り組み、粘り強く取り組んでいる。 ・学級生活をよりよくするために、互いに意見を出し合い、よりよい生活を築こうとしている。	・国語や算数の勉強が「好きではない。」「あまり好きではない。」と思っている児童の割合が、国語では25%を、算数では20%を超えていること。 ・読書を好む児童は多いが新聞を読む機会が少ないこと。 ・地域の行事に参加する機会がほとんどない児童がいること。

2①　授業の充実に向けた重点的な取組

・今後も各教科等及び各学年相互の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにしていく。
・基礎的･基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語環境を整え、児童の言語活動を充実していく。
・体験的な学習や基礎的･基本的な知識及び技能を活用した、問題解決的な学習を重視していく。
・国語科では、自分の考えとその理由を明確にして書いたり、目的に応じて本や文章を選び内容を的確に押さえて読んだり、話し手の意図を捉えながら聞いたり自分の意見を比べながら聞いたりしていく。
・算数科では、日常生活の事象を数理的に捉え、問題を見いだし、問題を自立的・協働的に解決し、数学的な表現を用いて筋道を立てて説明していく。

2②　家庭（地域）への発信内容（協力依頼事項）　※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

日頃より児童の健康管理や規則正しい生活習慣の確立、宿題等に対する言葉がけのご支援をいただき、感謝申し上げます。今後も、児童が自主的・継続的に学習に取り組むことを目指して指導していきますので、よろしくお願いします。

学習においては、基礎的・基本的な知識及び技能を生かした問題解決的な学習や体験的な学習を重視するとともに、学習や生活の基盤となる言語能力の育成も図っていきたいと考えます。そのために、児童が考えたり書いたり発表したりする機会を、より多く設けていきたいと考えます。また、各教科や各学年相互の関連を図り、系統的・発展的な指導をしていきたいと考えます。